



わでな

編集と発行

発行 嘉手納町役場

編集 企画渉外課広報係

☎904-02

嘉手納町字嘉手納588番地

☎ 09895(6)-1111

(内線331)

印刷：光文堂印刷株式会社



キビ刈り作業に精を出す農家のみなさん

キビ刈り作業に 精を出す農家の皆さん

嘉手納町の農家では、キビ刈り作業が一月初旬から始まり、ねこの手も借りたいほどの忙がしさである。今期のサトウキビ生産量は、糖度ともに前期（六二年・六三年）の生産高二、六五二トンと糖度十七度（平均）を大幅にうわまわる三、八〇〇トンと糖度十九度（平均）の生産予想である。

サトウキビも、前期は新植期、生産期に雨が少なく、逆に収穫期の一月、四月までの間に雨が多く、収量も減産しそれに伴ない糖度も低下しましたが、しかし、今期は、サトウキビ生産期の降雨と熟期の乾燥など、キビ栽培においては好条件に恵まれ、生産量、品質（糖度）とも前期をうわまわるほどの予想に、キビ作農家の顔にも笑みが見られるなど、農家の年になりそうだ。

12月1日現在の人口

	東区	上区	中区	北区	南区	西区	西浜区	小計
世帯数	708	417	403	611	568	594	712	4,013
男子	1,348	747	698	976	837	1,027	1,478	7,111
女子	1,292	779	686	1,040	902	1,063	1,435	7,197
計	2,640	1,526	1,384	2,016	1,739	2,090	2,913	14,308

吉浜町長、職員へ訓辞 「第二次嘉手納町総合計画基本構想」 四月からスタート 町民のご協力と 職員の英知を結集



官公署御用始めの一月四日嘉手納町役場でも一九八九年恒例の年始式が、庁舎一階ロビーに三役課長をはじめ全職員が出席するなか、吉浜町長から年始めの訓辞が行なわれた『写真』。

新しい年に際し吉浜町長は、職員に「本町においては、昭和五十三年に策定された第一次嘉手納町総合計画基本構想における十ヶ年間の事業の総締めくくりをする最後の年であります。」

昨年は、同基本構想に盛り込まれた計画事業として、総合福祉センターをはじめ葬斎場、屋良児童館、畜産団地等の整備事業が着工されましたが、ひきつづき、二十一世紀に向けたまちづくりのために、さらに向こう十ヶ年間の計画を策定した『第二次嘉手納町総合計画基本構想』のスタートの年であり、誠に意義ある年であります。

第二次総合基本計画も『安らぎと生き甲斐にみちたまち・嘉手納』を将来像に策定されますが、この計画を推進していくためには、何といっても問題になるのが軍用地の返還および基地の整理縮小による土地利用が最大の課題であり、去った十二月二十六日に同基本構想策定審議委員会から答申された

基本構想策定（案）にも、軍用地の土地利用計画が織り込まれている。

これから向こう十ヶ年間、町の行政指針を位置づけるための『第二次嘉手納町総合計画基本構想』をスタートするにあたり、今後とも町民皆様のご協力と職員の英知を結集し、諸々の事業を執行していきたい。

また、昨年は、本町も文化元年と位置づけ、二十一世紀に向けた人材づくりのために、本町に見合うような地域に密着した文化事業を行なって来ましたが、これから、さらに国際化・情報化時代に見合うような人材を育て、到来してくる高齢化社会に対応できるまちづくりをめざしていきたいと思えます。」と、新年の抱負とあいさつが行なわれ、出席した全職員も気持ちを新たに緊張した面持ちで、町長の訓辞に聴き入り、仕事始めに意欲をのぞかせていた。



出初式で防火を祈願 町民の生命・財産は 我々の手で



「その火、その時、すぐ始末」

を防火テーマに、今年も町民の生命と財産は我々の手で守ろうと、

嘉手納町消防本部と町消防団共催による一九八九年の出初式が一月

六日午後、兼久海浜公園内の勤労

同センターへ集合し、消防指令車

者体育センターで行なわれ、これから一年の防火を祈願した。

当日は、朝から小雨がちらつく

あいにくの天候にもかかわらず、

制服に身を包んだ消防職団員らが

を訴えた。

午後からは、去年の十二月十日

同公園内グラウンド東側に新設さ

れた訓練塔の完成を祝い、消防職

団員が見守る中、吉浜町長、岩井

議長、山口消防長らの手によって

テープカットが行なわれた。写真。

ひきつづき、同訓練塔では、消

防職団員による展示訓練が行なわ

れる予定でありましたが、雨天の

ため中止になり、場所を勤労者体

育センターに移し、式典が行なわ

れた。

式典で、吉浜町長は消防職団員

へ「本日の伝統ある消防出初式を

新たな一年のスタート台として、

消防職団員が決意をあらたに職責

の重大性を自覚され、町民の生命

財産を守るとい町民の信任に充

分応えられるよう切望します。」と

訓辞。写真。

消防活動に専念された優良職・

団員へ町長表彰と沖縄県消防協会

長表彰が行なわれ、吉浜町長と勝

連助役（県消防協会長代行）から

表彰状がそれぞれ手渡され、沖縄

県知事（代読）をはじめ県消防協

会長（助役代読）、岩井議長、渡

久地喜常嘉手納署長（次長代読）

ら多くの来賓あいさつのあと、山

口消防長の答辞で出初式を終了し

た。

新しい訓練塔は、県道七十四号

線沿いに設置されていた従来の仮

設訓練塔が消防法の基準に適合し

なく、さらに建物の高層化に伴な

い、高度な技術訓練を要するため

に、総工費一千七十万円で高さ十

五メートルと八メートルの訓練塔

が設置された。

優良職・団員表彰者は次の方々

です。

◎町長表彰

優良職員表彰……知花 賢伊

古謝 宏吉

優良団員表彰……真壁 孝

渡嘉敷通晃

◎沖縄県消防協会長表彰

優良職員表彰……照屋 清

永年勤続団員表彰……德里 政輝

第9回 嘉手納町社会教育振興大会

テーマ ●生涯学習をまちぐるみで推進するにはどのようにすればよいか。

1. 主催 嘉手納町教育委員会
 2. 日時 平成元年3月18日(土)午後2時
 3. 場所 嘉手納町中央公民館ホール
- (※町民多数の御参加をお待ちしております。)

定数二十人に対し二十三人立候補

少数激戦の中

現職十三人、新人六人、元一人当選

任期満了に伴う、第十一回嘉手納町議会議員選挙の投票が、一月十五日嘉手納小学校体育館と中央公民館大ホールの両会場で行なわれ、写真、即日開票の結果、当選者二十人が決まった。

平成元年における、県内市町村議会議員選挙のトップを切った同選挙も、定数二十人に対し、現職十六人、新人六人、元一人の合

せて二十三人が立候補、前回より一名増の少数激戦のしるぎをけずる選挙戦を展開し、投票率もほぼ前回なみの八九・三三パーセントの高率であった。

開票は、午後七時半から中央公民館大ホールで行なわれ、午後十時ごろから当選者が判明しはじめ、午後十一時過ぎには二十議席全員の当選が決まった。

当選者の内訳は、現職十三人、新人六人、元一人で、新人は、同町議選初めて二人のフレッシュな戦後生れが当選するなど、全員が当選をし、元議員も返り咲いたが、反面、現職三人が落選をするなど、きびしい戦いであった。

晴れ晴れとした表情で
附与式にのぞむ

二十人の当選議員

嘉手納町選挙管理委員会による第十一期嘉手納町議会議員への当選証書の附与式が、一月二十三日午後四時役場庁舎二階の会議室で行なわれた。

初めての附与式とあって顔を紅潮させ緊張した面持ちで証書を受けとり、改めて当選の実感をかみしめ、きびしかった選挙戦を振り返るかのように、喜びに満ち溢れていた。

第一回 臨時議会

議長・副議長等を選出

有権者数 九、五一五人
投票総数 八、五〇〇人
投票率 八九・三三%



議長

副議長

岩井義信 宮平永治

町議会は、先の選挙で新しく選ばれた二十名の議員を招集し、第一回嘉手納町議会臨時議会を一月二十六日午前十時に開会した。この臨時議会は、今後四ヶ年間の議会運営を進めていくための人事を決定するために開かれたもので、議長、副議長、各常任委員及び委員長等の選出が行なわれ、次の通り決まりました。

◎総務財政常任委員会

委員長 古謝世徳
副委員長 濱元朝義
委員 田崎博美、伊波孝之、
稲嶺盛貞、興那覇孫太郎

◎中部伝染病隔離病舎組合議会議員

花城康次郎

◎中部衛生施設組合議会議員

当山政恒

◎町監査委員（議会選出）

濱元朝義

◎文教厚生常任委員会

委員長 金城高夫
副委員長 花城康次郎
委員 伊礼政吉、眞榮田双助
比嘉健雄、田仲康栄
徳元正信

◎建設経済常任委員会

委員長 仲宗根正幸
副委員長 金城睦昌
委員 当山政恒、田場盛文、
仲宗根政幸、宮平永治

◎基地対策特別委員会

委員長 田場盛文
副委員長 金城高夫
委員 眞榮田双助、田仲康栄
稲嶺盛貞、仲宗根正幸

◎嘉手納バイパス対策特別委員会

委員長 稲嶺盛貞
副委員長 花城康次郎
委員 伊礼政吉、田崎博美、
当山政恒、伊波孝之
仲宗根正幸

当選者の顔ぶれ（定数二十人）

① 現住所 ② 学歴 ③ 出身地 ④ 得票数

 徳元 正信 66 無・現9 ① 団体役員 ② 嘉手納六三一 ③ 屋良青年学校卒 ④ 東 ⑤ 四三二票	 田仲 康栄 44 共産・元2 ① 党役員 ② 屋良九二一四 ③ 立命館大学卒 ④ 兼久 ⑤ 四四四票	 金城 高夫 55 公明・現4 ① 団体役員 ② 嘉手納三〇四 ③ 読谷高校卒 ④ 嘉手納 ⑤ 四五〇票	 仲宗根 政幸 63 無・現5 ① 団体役員 ② 嘉手納一三四 ③ 海軍機関学校卒 ④ 野里 ⑤ 五七五票	 仲宗根 正幸 50 無・現4 ① 土地家屋調査士 ② 嘉手納三一四 ③ 国際大中退 ④ 野里 ⑤ 六五五票
 興那覇 孫太郎 63 自民・現9 ① 会社役員 ② 水金五三八一七 ③ 屋良高等小卒 ④ 野国 ⑤ 三五一票	 濱元 朝義 52 無・現2 ① 会社代表 ② 嘉手納四六五 ③ 法政大学卒 ④ 嘉手納 ⑤ 三六〇票	 田場 盛文 56 無・現5 ① 会社代表 ② 嘉手納五二四 ③ 沖縄国際大学卒 ④ 恩納村 ⑤ 三六四票	 稲嶺 盛貞 56 無・現3 ① 会社役員 ② 嘉手納四二九 ③ 読谷高校卒 ④ 久得 ⑤ 三六七票	 田崎 博美 42 無・新1 ① 経営コンサル タレント ② 屋良九五三 ③ 駒沢大卒 ④ 大通 ⑤ 三九二票
 金城 睦昌 55 無・現2 ① 軍雇用員 ② 水金三六〇一 ③ 国際大学卒 ④ 嘉手納 ⑤ 三二八票	 当山 政恒 49 無・新1 ① 自営業 ② 屋良六六四一 ③ 読谷高校卒 ④ 屋良 ⑤ 三二九票	 眞榮田 双助 47 無・新1 ① 専門学校教諭 ② 嘉手納四四八一七 ③ 近畿大卒 ④ 水金 ⑤ 三三〇票	 岩井 義信 59 無・現6 ① 会社役員 ② 水金五六六二〇 ③ 中政大院卒 ④ 名瀬市 ⑤ 三三二票	 比嘉 健雄 50 無・新1 ① 無職 ② 嘉手納二 ③ 読谷高校卒 ④ 東 ⑤ 三三九票
 古謝 世徳 53 社会・現6 ① 軍雇用員 ② 水金一一八四 ③ 読谷高校卒 ④ 兼久 ⑤ 二九五票	 宮平 永治 47 無・現5 ① 会社代表 ② 嘉手納五一二一九 ③ 国際大学卒 ④ 国直 ⑤ 三〇五票	 伊礼 政吉 41 無・新1 ① 薬局経営 ② 嘉手納三〇二一 ③ 名城大学卒 ④ 野里 ⑤ 三一七票	 花城 康次郎 57 無・現2 ① 団体役員 ② 嘉手納四六四 ③ 読谷高校卒 ④ 千原 ⑤ 三二四票	 伊波 孝之 55 無・新1 ① 軍雇用員 ② 嘉手納七七 ③ 嘉手納中卒 ④ 嘉手納 ⑤ 三二七票

自粛ムードの中 新年会を行う 今年も飛躍を祈願



席者の皆さんへ景気づけに樽酒がふるまわれていたが、今年は、天皇陛下の御病氣により、とりやめ、自粛ムードのなかで行なわれ、宮里商工会長の乾杯の音頭で新年のスタートを切った。

新年会も、なごやかな雰囲気の中で催され、自粛ムードとはいえ、出席された皆さんもお酒が入ると、コップを片手にお互いあいさつを交すいつもの光景が会場のあちらこちらで見られるなど、新年会で交流を深めていた。

「明ましておめでとうございます。」と。

町役場・商工会共催による恒例の新年会が、一月五日午後六時から中央公民館に町内・外から二百名余の方々が参加し催された『写真』。

新年会は、勝連助役の開会あいさつで始まり、出席者全員で嘉手納町歌を斉唱した後、主催者を代表して吉浜町長が新年のあいさつを行なった。

例年までは、新年のスタートに向けて威勢よく鏡割りを行ない出席者の皆さんへ景気づけに樽酒がふるまわれていたが、今年は、天皇陛下の御病氣により、とりやめ、自粛ムードのなかで行なわれ、宮里商工会長の乾杯の音頭で新年のスタートを切った。

平成元年 県内初の成人式 二九一名が大人の仲間入り

「成人式おめでとうございます。」

と。嘉手納町教育委員会主催による成人式が平成元年の一月八日（日）午後四時から中央公民館において、吉浜町長をはじめ町田教育委員長ら大勢の関係者が出席するなかで催された。

町内で今年成人式を迎えたのは二百九十一名で、うち二百五十六名の新成人が雨の中、新調した着

物や背広姿で式典開始一時間前から会場に出席。同ホールも女性たちの色あざやかな振りそで姿がひととき華やかな雰囲気漂わせていた『写真』。

会場入口では、出席された新成人一人ひとりの胸に先輩から祝福の赤いフラワリーホンがつけられると、新成人の顔から思わず笑みがこぼれるなど、喜びのなか式典にのぞんでいた。

式は、大行天皇の崩御に伴ない、予定されていた町歌斉唱やアトラクション、懇親会などの日程が変更され、出席者全員が一分間の黙禱を行ない大行天皇へ哀悼の意を表わしたあと、町田教育委員長の式辞ではじまった。



つづいて、吉浜町長は新成人に對し「今日からは、社会の一員として、より一層の教養と英知を寛容され、心身共に健全にして立派な社会人として、生れ育った郷土、嘉手納町を住みよい明るい活動あ

る町にしていくために、若い皆さん方の御活躍を期待します。」と激励。

岩井議長（副議長代読）、上原康助衆議院議員、村山県議会議員、仲村渠兼栄町青年会長および赤嶺一成沖縄県青年団協議会長らが二十才の皆さんにそれぞれ激励やメッセージが贈られた。

多くの来賓の激励に對し、新成人を代表して仲村渠聡さんが「成人ということの喜びと同時に今までの以上に責任感を胸いっぱい抱き、これからの行動によりいっそう心を引き締め、ご期待に添うよう努力して参りたいと思います。」と成人への誓いが述べられ『写真』、来賓や関係者の拍手に包まれるなか、平成元年の記念すべき成人式を終了した。



お知らせ

国保二ニュース

保険手帳の

「きりかえ」について

今の保険手帳の使用は

三月三十一日まで

現在、皆さんが使っている国民健康保険手帳（退職者保険手帳も含む）は三月三十一日で有効期限が切れて使えなくなります。そのため、各区自治会事務所において新しい手帳への「きりかえ」を行いますので該当区日時を留意の上「きりかえ」下さいませようお知らせ致します。

●各区自治会事務所での日程

東区・三月一日 北区・三月六日
上区・三月二日 南区・三月七日
中区・三月三日 西区・三月八日
西浜区・三月九日

●時間、午後一時より六時まで

●きりかえに必要なもの

○国民健康保険手帳

○印鑑 ○保険税の未納分

○学生用手帳の希望者は在学証
明書又は入学許可証

※保険税はあなたの所得により計算されます。

所得申告は必ず行って下さい。

四週六休制の施行と 土曜開庁時間の延長について

総務課より

町役場では、平成元年一月より当分の間、役場職員の四週六休制の施行を実施することになりました。

この試行は、国、県並びに民間企業等で実施されている週休二日制を、今後役場において実施していく場合の問題点を把握するために行なわれるもので、四週間で四回ある日曜日に二回の土曜日を加え、四週間で六日休むということになります。そのため、毎週土曜

日をおおむね半数ずつの職員が交替で休むこととなります。

又、四週六休制の施行に伴わせて、土曜日の役場開庁時間を三十分延長し、十二時三十分まで業務を行なうことになりました。

試行中、行政サービスの低下をきたさないよう、万全の体制で業務遂行をいたしてまいりますので、町民皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

所得税の確定申告は、早めに!!

沖縄国税事務所・税務署・町役場税務課

昭和六十三年分の所得税の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。申告と納税は三月十五日までですが、期限間近になりますと、税務署の窓口は大変混雑します。確定申告は正しくお早めに済ませて下さい。

沖縄税務署では、納税者の便宜を図るため、次の日程で移動納税相談と確定申告書の受付を行いますので、ぜひこの機会を利用してお早めに申告を行って下さい。

◎サラリーマンの確定申告

大部分のサラリーマンは、「年

末調整」によってその年の納税が完了しますので、改めて確定申告をする必要はありません。しかし、サラリーマンでも確定申告をしなければならぬ場合や確定申告をすると源泉徴収された所得税が還付される場合があります。

所得や税額の計算の仕方、申告書の書き方などわからない点がありましたら、お気軽に最寄りの税務相談室や税務署でおたずね下さい。

◎移動納税相談日

青年教室に参加して あなたの趣味を見つけては

青年教室受講生募集中

- 対象 町内の青年男女
- 期間 2月3日(金)～3月24日(金)
毎週1回～2回実施
(原則として金曜日)
午後8時～午後10時
(2時間の10日間)
- 研修場所 町中央公民館を主会場に学習内容で場所を変更。
- 定員 30名
受講メニューはたくさんありますので、詳しいことについては、6-1111(内線378、379)まで連絡下さい。



あなたも参加してみませんか!

フォーク・ジャズとヨガで美しいプロポーションを

婦人体操教室開講

受講生募集中

①受講内容

- フォークダンス(八時間)
- ジャズダンス(六時間)
- ヨガ(六時間)

②日程

二月十七日(金)～三月二十一日(火)

③主催

毎週火・金 午後七時～九時
町教育委員会(社会教育課)
申込みは、二月十五日午後四時
まで
TEL 六〇一一一
(内線三七八・三七九)

●場所

嘉手納町中央公民館

●日時

平成元年二月二十七日
(月)、二十八日(火)
午前九時から午後四時まで。



みんなの広場

ぼくの詩・わたしの詩

十才になったぼく

父さんにているぼくの顔

にてる にてる

みんながいう

かがみをのぞいてみた

そんなにてるのかな

習字のうまいお父さん

英語のうまいお父さん

きんにくもあるお父さん

顔がにてるなら 体だつてにてるだろう

力こぶを出して見る

あまり出ていない

十年たつたら

父さんみたいになれるかな



(イラスト・山川政安氏)



屋良小学校四年
棚原 哲彦

カーサームーチーを おいしそうにほほばる

町立保育所の園児ら

沖縄の伝統行事の一つであるカーサームーチー作りの体験学習が、一月十三日(金)午前、町内の三保育所で行なわれ、園内はムーチー作りに精を出す園児らの声が弾んでいた。

園児たちも、ムーチー作りの日とあってスカーフやエプロンに身を包み朝からウキウキ。

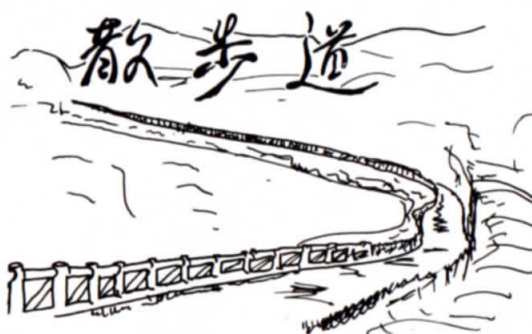
各クラスで先生からムーチーの話しや作り方を聞いたあと、前もって準備されたピンク色や白色、黒糖色などの色とりどりのモ

ツ、ボーズを見せ喜んでいた。

ムーチー作りは、午前中で終え、各クラスから出そろったムーチーが、外に用意された大きなナベで次々に蒸されると、風にのってサンニンの香りがあたり一面に漂い、そのこぼれ香りに誘われてか、通行人もしばし立ちどまるなど、園もこの日はかりはサンニンの香りに包まれ、賑わいを見せていた。

一方、できあがったムーチーは、おやつ時間にみんなでおぼり、楽しいムーチー日を過ごした。





若い頃から下手で、嫌だったスポーツの沖縄県代表選手になった、という、友人達は奇異に思う筈である。昭和六十三年、ネンリンピック88、第一回健康福祉祭、ひようご大会が一九八八年十月三十日から十一月二日まで兵庫県で開催されたので、ソフトボール交流大会に、天川クラブの一員として出場したのである。耳なれない催しだから簡単に説明する。厚生省が創立五十年になるので、記念事業として「いのち輝く長寿社会」をテーマに、元氣自慢、腕自慢の年寄りが集って交流を深める祭典

です。つまり、長期化する老後期間を如何に健康で充実したものにするか、ということが大切で、その為には、一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という自覚と責任をもつことが大切であり、その為の全国的組織化がネンリンピック・全国健康福祉祭であり、これを国民の間に定着させ、それを目標に地方での活動を啓発するねらいのようだ。第一回ひようご大会の種目は、卓球・テニス・軟式庭球・ソフトボール・ゲートボール・ペタンク・ゴルフ・記念マラ



ソン・全国長寿社会すこやかセミナーに福祉分科会・健康分科会・全体会があり、シルバークラス・シルバークラス・シルバークラス・写真・絵画・書がありました。この行事を通じて地域に於ける活動が定着すれば、種目の増設や改善もあるのではないのでしょうか。参加は都道府県と政令都市の五十七団体でありました。総合開会式は十月三十日午後神戸ポートアイランド

ホールで開催された。翌日から種目毎の会場に分散して開催されソフトボール交流大会は三日間西宮市公江記念総合グラウンド並兵庫医科大学グラウンドで開催されました。都道府県並政令都市から四十七チームが参加した。九時から開会式をもち、北から北海道を先頭に入場し、沖縄県は鹿児島県に次いで入場、最後は兵庫県チームが入場し式典次第に従って進まれ、終了と同時に十時から試合が始められた。天川クラブは一回戦はDコートで静岡県代表島田ロマンスクラ

健康雑感

奥間信一
(町社会福祉協議会長)

口の負担云々の話に「あまり長生きすると悪いみたいだな」と僻みを覚える年齢になってしまった。年をとれば力も体も弱くなる、あじくの果ては体を支えきれなくなる。それに対応する施策や温情は世に充溢しているけれども、それに我が身を委ねること快よしとしない頑固さもあるわけいろいろと考えさせられる。年をとらない方法があれば誠にもって果報なことであるが、そんなことがあろう筈もない。中国の古書大学に、「心誠求之、雖不中不遠矣。心誠に之を求

ブと対戦。翌日二回戦はGコートでオールコーベチームと対戦した。両対戦とも負けたけれども、個々が基本的プレーに熟達すること、2、チームとして連繫プレーに習熟すること、3、平静に試合運びが出来るよう練習試合を積むことを痛感した。今度の経験を生かし練習に励むことが肝要です。

二十一世紀当初には四名に一人は高齢者云々、高令社会は勤労人の負担云々の話に「あまり長生きすると悪いみたいだな」と僻みを覚える年齢になってしまった。年をとれば力も体も弱くなる、あじくの果ては体を支えきれなくなる。それに対応する施策や温情は世に充溢しているけれども、それに我が身を委ねること快よしとしない頑固さもあるわけいろいろと考えさせられる。年をとらない方法があれば誠にもって果報なことであるが、そんなことがあろう筈もない。中国の古書大学に、「心誠求之、雖不中不遠矣。心誠に之を求

依つても異なるだろうが、運動でもよい、趣味でもよい、何か一つ、これをやっておれば楽しくて年を忘れてしまうというものをもちこ

奥間信一氏

プロフィール

- 昭和四十四年三月一三日
沖縄県立農林学校卒業
- 昭和四十六年三月二〇日
沖縄県立青年学校教員養成所卒業
- 昭和四十六年四月一日
首里市立女子実業青年学校教諭
- 昭和四十七年四月一日
嘉手納中学校教諭
- 昭和四十八年四月一日
宮前小学校教頭
- 昭和四十九年四月一日
嘉手納中学校教頭
- 昭和五十年四月一日
津堅小中学校校長
- 昭和五十二年四月一日
嘉手納中学校校長
- 昭和五十四年四月一日
嘉手納中学校校長
- 昭和五十六年四月一日
嘉手納中学校校長
- 昭和五十八年四月一日
嘉手納中学校校長
- 昭和五十九年四月一日
嘉手納中学校校長
- 昭和五十九年十二月五日
嘉手納町社会福祉協議会会長



親善交流

スキーやまなこで

大山町小(鳥取県)と嘉手納・屋良両小の児童

人材育成事業の一環として、去年の十二月二十五日～二十八日までの日程で、嘉手納町・大山町親善交流事業団(団長 奥間偉功屋良小学校長)として、鳥取県大山町を訪れた嘉手納・屋良両小学校五年生の十七名が、大山小学校の児童たちとスキーなどで親善交流が行なわれた。

嘉手納町と大山町との親善交流のきっかけは、大山町は「わかとり国体」と嘉手納町は「海邦国体」で、それぞれソフトボール競技会場として同種目の開催地がとりも

つ縁で、今回、大山小学校との親善交流が実現した。

十二月二十五日大山町を訪れた一行は、地元、大山町の大山小学校区の家庭八軒に分散して民泊。

二十六日の午前中は、大山町教育長をはじめ児童、先生、父母ら関係者による歓迎会が盛大に催され、地元大山小香取分校からは「傘踊り」、嘉手納町の児童からは「子供エイサー」などの余興が

行われ、交流会もなごやかに催された。

午後からは、嘉手納町の子供らが心まことにしていた大山の「中の原スキー場」へ行き、ゲレンデでは、夢にまで見た真白な一面の銀世界に子供たちは思わず歓喜の声をあげ、積っている雪に触っては「冷めたくて、気持ちいい」、「嘉手納の友だちにも見せたいね」とおおはしやぎ。

大山小児童の指導を受け、何度も転ぶなか、スキー初体験や雪ダルマ作り、雪合戦をするなど、初めて見る雪の感触を心ゆくまで楽しんでた写真。

二十七日の午前中は、香取村開拓団の牧場視察をしたあと、午後からは、同町佐摩の農村改善センターでもちつきが行なわれ、本町の子供たちも次々ともちつきにチャレンジ。地元の大人の指導で、きねを振りあげ「むつかしいなあ」、「重たいなあ」と、もちつきを楽しみ、大山町の温かいもてなしのなか、大山小の児童らとのふれあいなど、楽しい思い出をお土産に二十八日午後全員元気で帰郷した。

また、引率の照屋高一さん(教育委員会社会教育課社会教育係長)は、「短い日程ではあったが、

地元の温かい歓迎のなか子供たちも初めて見る雪やスキー体験にたいへん感激していた。こんどは、嘉手納町が夏に来沖する大山町の子供たちを温かくむかえ、南国沖繩のコバルトブルーのきれいな海を心ゆくまで満喫させたい」と、笑顔で話し、早くも夏に訪ずれる大山小児童の来沖を心まことにしている。



嘉手納高校の校内マラソン大会が、一月十三日(金)兼久海浜公園内のグラウンドから兼久マリナ

1折り返し地点のコースで行なわれた。

同マラソンは、生徒達の体力増進と協調心を養う目的で行なわれ、今年で四回目をかぞえる。

当日は、気温も低く肌寒いうえ、ときおり小雨がちらつくあいにくの天候にもかかわらず、午前十時、女生徒の五キロメートルを皮切りに、続いて、男生徒が十一時に十キロメートルへスタート。生徒達はランニングと短パン姿の軽装で寒風のなか、各コースへ挑んでいた写真。

なかには、スタートしてまだ間もないが、すでに顔をしかめ苦しそうな表情で走っている生徒も見られたが、同マラソンは、体育の評価対象になるため、一時間以内の制限タイムで完走しないと失格となり、さらに、失格した生徒は再度走ることになるとあって、「さむい」、「きつい」を連発しながらも、歯をくいしばり一時間以内の制限タイムを目標にゴールめざしてけんめいに走り、全員が完走し心地よい汗を流した。

嘉高 校内マラソン

制限タイムをめざし完走